

## 「生成AIの活用」

開催日：令和8年7月21日（火）

申込期限：令和8年6月30日（火）

実施会場：株式会社宮崎県ソフトウェアセンター

## 1 | カリキュラム内容

推奨対象者：中堅者、管理者層

ねらい：生成AIの概要とビジネス現場における、具体的な活用シーン等について理解し、AIと協働することによる業務の質とスピードを高める技術を習得する。

使用するAI：「Gemini」（Googleが開発した生成AIチャットボットとなります）

注意事項：本訓練はGoogleアカウントが必須となります（生成AI「Gemini」にて利用）。訓練当日、Geminiにログインする際に、GoogleアカウントのID・PASSの入力が必要となります。お手数ですがご準備のほどよろしくお願ひします。PCは実施機関にて準備いたします。

基本項目	主な内容
1 生成AIの概要	<p>（1）生成AIの基本理解 生成AIとは まずは使ってみよう 生成AIのテキスト作成の仕組み 生成AIのバージョンと利用方法 職場で使うときの注意点</p> <p>（2）生成AIをうまく使うコツ 通して大事なこと（基本の心構え） 用途に応じて大事になる工夫 指示で出せる主な形式</p>
2 生成AIの活用事例と今後の展望	<p>（1）業務に活かせる生成AIの使い方 文章の校正・スペルチェック 文章要約 アイデア出し・代替案の提案 書類のフィードバックをもらう 想定質問・FAQ形式文章・会話形式 議事録の作成</p> <p>（2）さらに使いこなすには 例を提示する・データを指定する段階的に作る・生成AIに質問させる ロールプレイ・シミュレーション ファクトチェックの重要性</p> <p>（3）まとめ 気をつけるべきケース</p>

## 2 | 講師紹介

※受講者の当日のご様子を見て、主な内容を変更・追加する場合がございます。

若松 大暉

株式会社 宮崎県ソフトウェアセンター

今までの簡易的な経歴：DX・IT活用分野の講師。新聞社や産学官連携のセミナーでDX入門を解説し、Excel研修やSNSトラブル対策講座にも登壇。実務に即してポイントを押さえ、受講者の理解度に合わせて分かりやすく丁寧に説明します。

## カリキュラム作成のポイント・ひとこと

生成AIに初めて触れる人でも安心して学べる内容としている。専門用語はかみ砕いて説明し、まずは実際に触って「できた」を体感できる構成とした。日常業務での想定される事例を用いて、業務で活かせるイメージを持たせる。